

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春に	2	●言葉の中の春を読む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをととして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
立ってくる春	3	●文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
なぜ物語が必要なのか	3	●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
私	4	●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ
文法 助詞	2	●助詞のはたらきについて理解する。	助詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に助詞に興味・関心を抱き、助詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、
AIは哲学できるか	4	●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。
漢字の広場1 呉音・唐音・漢音	1	●漢字の音の歴史についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをととして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
旅への思い 芭蕉とおくのほそ道	5	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをととして、その世界に親しんでいる。(3)ア 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。

言葉の小窓 和語・漢語・外来語	2	●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		粘り強く言葉の特徴や使い分けを理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
漢字の広場2 熟字訓	1	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
async-同期しないこと	4	●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現	1	●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。(1)エ		粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
文法 助動詞	3	●助動詞のはたらきについて理解する。	助動詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
和歌の調べ 万葉・古今・新古今	5	●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
漢字の広場3 異字同訓	2	●異字同訓についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返して学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
言葉の小窓3 慣用句・ことわざ	1	●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
俳句の味わい	3	●言葉の意味を掘り起こして読む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。

初恋	2	●表現上の工夫に注意して、暗唱する。	文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
故郷	7	●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見を述べる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。
風景と心情 漢詩を味わう	5	●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	歴史的背景などに注意して古典を読むこととをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
漢字の広場4 四字熟語	1	●四字熟語についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
文法 品詞の識別	1	●品詞のはたらきについて理解する。	品詞のはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
自己PR文を書く	2	●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ		粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
持続可能な未来を創るために	4	●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ	粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
青春の歌－無名性の光	2		自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。
素顔同盟	3	●主人公の抱いた仮面や周りの人に対する思いをとらえる。 ●場面や登場人物の設定、作品の構成や展開に着目し、作品を批評する。	自分の生き方や人とのかかわり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	作品のテーマに沿って表現された描写から主人公の心情の変化をとらえることができる。	作品を読んで、適切に批評し、文章を書くようとしている。
やわらかな想い	2		理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うこととをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
百人一首	4	●日本の伝統文化である百人一首に親しむ。 ●和歌から古人の物の考え方、感じ方を読み取る。	歴史的仮名遣いや和歌の技法について理解している。		百人一首の競技法に則って、進んで取り組もうとする姿勢がある。 百人一首に収められた歌に興味をもち、エピソードや技法を学ぼうとする姿勢がある。

教科	国語 書写		学年	3学年		
	単元名	時数		単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	点画の変化と連続「創造」	2	点画の変化と連続を理解して書くことができる。 次の文字への筆脈を理解して書くことができる。	点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解し、字形を整えて書くことを把握している。 点画の変化と連続、次の文字への筆脈を理解して、字形を整えて書いている。	点画の変化と連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の変化と連続、次の文字への筆脈の中から自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。
	行書と仮名の調和「美しい自然」	2	点画の連続を理解して書くことができる。 配列を理解して書くことができる。	点画の連続や配列の書き方、字形を整えて書くことを理解している。 点画の連続や配列の書き方を理解して、字形を整えて速く書いている。	点画の連続や配列の書き方を確かめ、自己の課題を見つけ、その解決方法を考えている。	点画の連続や配列の書き方に興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。
	多様な表現による文字	2	身のまわりで見かける、文字のもつ表現効果について考えることができる。	文字の表現効果を、生活に生かすことについて考えている。	文字の表現効果を、生活に生かそうとしている。	用紙上での文字の配置や書体について粘り強く検討し、自分の作品を効果的に仕上げようとしている。
	書き初めを書く	4	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。	楷書や行書の筆使いや字形、文字の大きさを理解することができる。	点画の連続と配列の特徴をとらえ、仮名との調和を理解することができる。	楷書や行書の筆使いや字形、文字の大きさを理解して書こうとしている。